

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公表番号】特表2005-525971(P2005-525971A)
 【公表日】平成17年9月2日(2005.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報2005-034
 【出願番号】特願2003-569107(P2003-569107)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 51/18 (2006.01)

A 6 1 J 1/05 (2006.01)

A 6 1 M 39/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 51/18 G

A 6 1 J 1/00 3 1 5 Z

A 6 1 M 5/14 4 2 5 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成18年1月26日(2006.1.26)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

密封された容器と、コンテナとの間を接続するためのデバイスであって、該密封された容器は、首を備え、該首の開口部は、ストッパによって閉じられており、該接続のためのデバイスが、以下：

土台であって、該土台は、該容器に装着されるように適合され、該土台は内側穴を形成するスリーブを備え、該首において閉じられるように適合されている、土台；

プランジャであって、該プランジャは、該ストッパから解放された第一の位置と、中空針が該ストッパを横切る第二の位置との間において、該穴においてスライドするように適合されている、プランジャ；

該首においてスナップオンの構成で該土台を固定するための、環状スカート；および
雰囲気から該スリーブを隔離するように適合されている取り外し可能なキャップであって、該キャップは、一旦取り除かれると元の位置に再挿入できない、キャップ、
を備える、デバイス。

【請求項2】

前記プランジャと前記土台とが、1ピースに形成されており、該プランジャの前記第一の位置と第二の位置との間での動きに伴って前記穴の中心軸に対して平行な方向に変形されるように適合されている少なくとも1つの柔軟なさねによって接続されていることをさらに特徴とする、請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】

前記環状スカートが、前記分離した取り外し可能なキャップを保持するために、フランジに適合されている、請求項1に記載のデバイス。

【請求項4】

前記キャップが、取り外されると前記コンテナの接続を可能にするように適合されており、該キャップが、前記スカートの内容物に係合するように適合された少なくとも一つの突起を備える、請求項1に記載のデバイス。

【請求項 5】

前記キャップが、取り外されると前記コンテナの接続を可能にするように適合されており、該キャップが、前記スカートの内容物に係合するように適合された少なくとも一つの突起を備え、該突起が、前記首および該キャップの中心軸に対して、該軸と開口部の端との間の最小距離よりも長い距離にわたって半径方向に伸び、該スカートの該内容物にアクセスを与える、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 6】

前記キャップが、取り外されると前記コンテナの接続を可能にするように適合されており、該キャップが、前記スカートの内容物に係合するように適合された少なくとも一つの突起を備え、該突起が、前記首および該キャップの中心軸に対して、該軸と開口部の端との間の最小距離よりも長い距離にわたって半径方向に伸び、該スカートの該内容物にアクセスを与え、該突起が、該キャップの主要部に連結され、ここで、該突起は、フランジであり、該フランジの半径は、該端の内側半径よりも長く、該端は、実質的に環状であり、該スカートは、弾力的に変形可能であって、該端の半径方向への変形後に該内容物から該突起が抜き取られるように適合しており、その結果、該キャップが該デバイスから取り除かれる場合に、該突起が該キャップの該主要部と一体化したままである、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 7】

前記突起の外形および前記端の外形は、前記開口部を通じた前記プランジャのスライド軸に平行な方向での前記内容物に対する該突起の抜き取りを可能にし、他方、該外形が、前記開口部を通じた該内容物への前記キャップの導入に抵抗する、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 8】

前記フランジが、外側の半径方向の表面を有し、該表面は、前記キャップの底に向けて短縮され、そして収束しており、他方、前記端は、前記首において前記デバイスを留めるために反対側に向けて短縮され、そして収束されている、請求項 6 に記載のデバイス。

【請求項 9】

エラストマから作製されたＯリングをさらに備え、該Ｏリングが、前記突起が前記内容物に係合される場合に、前記キャップと前記土台との間に挿入される、請求項 5 に記載のデバイス。

【請求項 10】

エラストマから作製されたＯリングをさらに備え、該Ｏリングが、前記突起が前記内容物に係合される場合に、前記キャップと前記土台との間に挿入され、該Ｏリングが、注入可能なエラストマから作製されている、請求項 5 に記載のデバイス。

【請求項 11】

前記キャップが、前記スリーブの外側表面に形成された少なくとも一つの突起と協働して、前記プランジャのスライド軸に沿って該キャップを位置づけするように適合されるタッピングを備える、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 12】

前記キャップおよび前記スカートが、プラスチック材料の 1 ピースで作製されており、破壊可能なブリッジが該キャップと該スカートとを連結するために提供される、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 13】

すぐに使用可能なアセンブリであって、以下：

製品を備える、密封された容器であって、該容器は、ストッパによって閉じられる首を備える、容器；

該容器に装着された接続デバイス；

を備え、該接続デバイスは、以下：

土台であって、該土台は、該容器に装着され、該土台は内側穴を形成するスリーブを備え、該首において閉じられるように適合される、土台；

プランジャであって、該プランジャは、該ストッパから解放された第一の位置と、中空針が該ストッパを横切る第二の位置との間において、該穴においてスライドするように適合されている、プランジャ；

該首においてスナップオンの構成で該土台を固定するための、環状スカート；および
雰囲気から該スリーブを隔離するように適合されている取り外し可能なキャップであって、該キャップは、一旦取り除かれると元の位置に再挿入できない、キャップ、
を備える、アセンブリ。

【請求項 14】

前記プランジャと前記土台とが、1ピースに形成されており、該プランジャの前記第一の位置と第二の位置との間での動きに伴って前記穴の中心軸に対して平行な方向に変形されるように適合されている少なくとも1つの柔軟なさねによって接続されていることをさらに特徴とする、請求項13に記載のすぐに使用可能なアセンブリ。

【請求項 15】

前記環状スカートが、前記分離した取り外し可能なキャップを保持するために、フランジに適合されている、請求項13に記載のすぐに使用可能なアセンブリ。

【請求項 16】

前記キャップが、取り外されると前記コンテナの接続を可能にするように適合されており、該キャップが、前記スカートの内容物に係合するように適合された少なくとも一つの突起を備える、請求項13に記載のすぐに使用可能なアセンブリ。

【請求項 17】

前記キャップが、取り外されると前記コンテナの接続を可能にするように適合されており、該キャップが、前記スカートの内容物に係合するように適合された少なくとも一つの突起を備え、該突起が、前記首および該キャップの中心軸に対して、該軸と開口部の端との間の最小距離よりも長い距離にわたって半径方向に伸び、該スカートの該内容物にアクセスを与える、請求項13に記載のすぐに使用可能なアセンブリ。

【請求項 18】

前記キャップが、取り外されると前記コンテナの接続を可能にするように適合されており、該キャップが、前記スカートの内容物に係合するように適合された少なくとも一つの突起を備え、該突起が、前記首および該キャップの中心軸に対して、該軸と開口部の端との間の最小距離よりも長い距離にわたって半径方向に伸び、該スカートの該内容物にアクセスを与え、該突起が、該キャップの主要部に連結され、ここで、該突起は、フランジであり、該フランジの半径は、該端の内側半径よりも長く、該端は、実質的に環状であり、該スカートは、弾力的に変形可能であって、該端の半径方向への変形後に該内容物から該突起が抜き取られるように適合しており、その結果、該キャップが該デバイスから取り除かれる場合に、該突起が該キャップの該主要部と一体化したままである、請求項13に記載のすぐに使用可能なアセンブリ。

【請求項 19】

前記キャップが、前記スリーブの外側表面に形成された少なくとも一つの突起と協働して、前記プランジャのスライド軸に沿って該キャップを位置づけするように適合されるタッピングを備える、請求項13に記載のすぐに使用可能なアセンブリ。

【請求項 20】

前記キャップおよび前記スカートが、プラスチック材料の1ピースで作製されており、破壊可能なブリッジが該キャップと該スカートとを連結するために提供される、請求項13に記載のすぐに使用可能なアセンブリ。